

第4章 公害苦情

第4章 公害苦情

1 概要

令和2年度(2020年度)の公害苦情受付件数は217件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が92件と最も多く、次いで水質汚濁、悪臭、大気汚染、振動の順となっています。(図4-1-1、図4-1-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課や各区役所の総務企画課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。令和2年度(2020年度)の各区役所の総務企画課が対応した公害苦情は、14件でした。

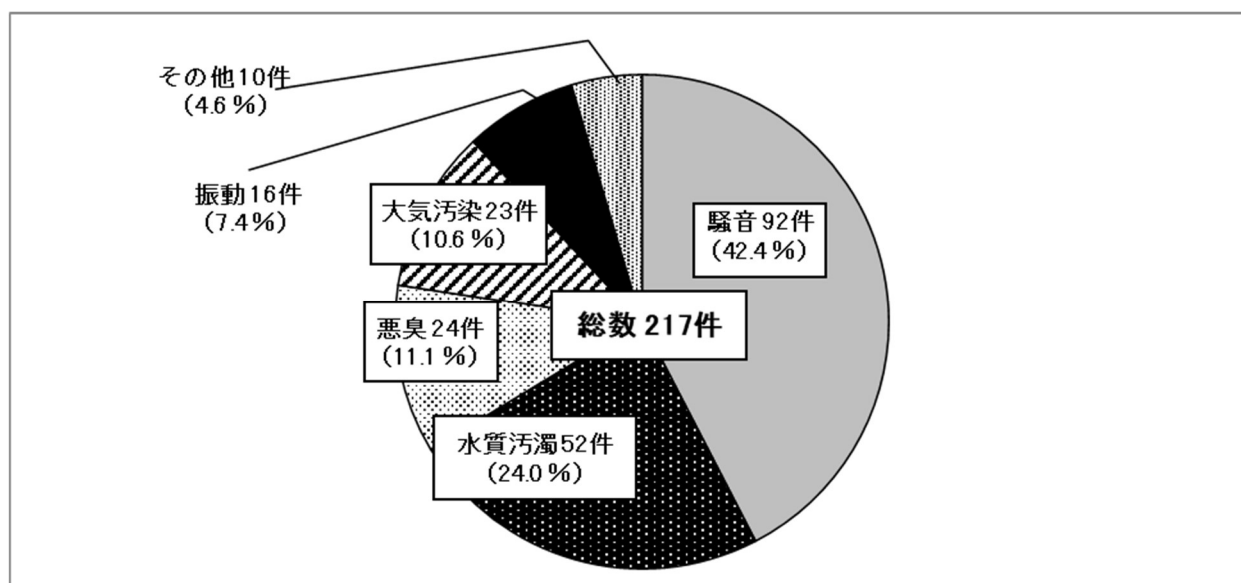


図 4-1-1 公害苦情の内訳(令和2年度(2020年度))

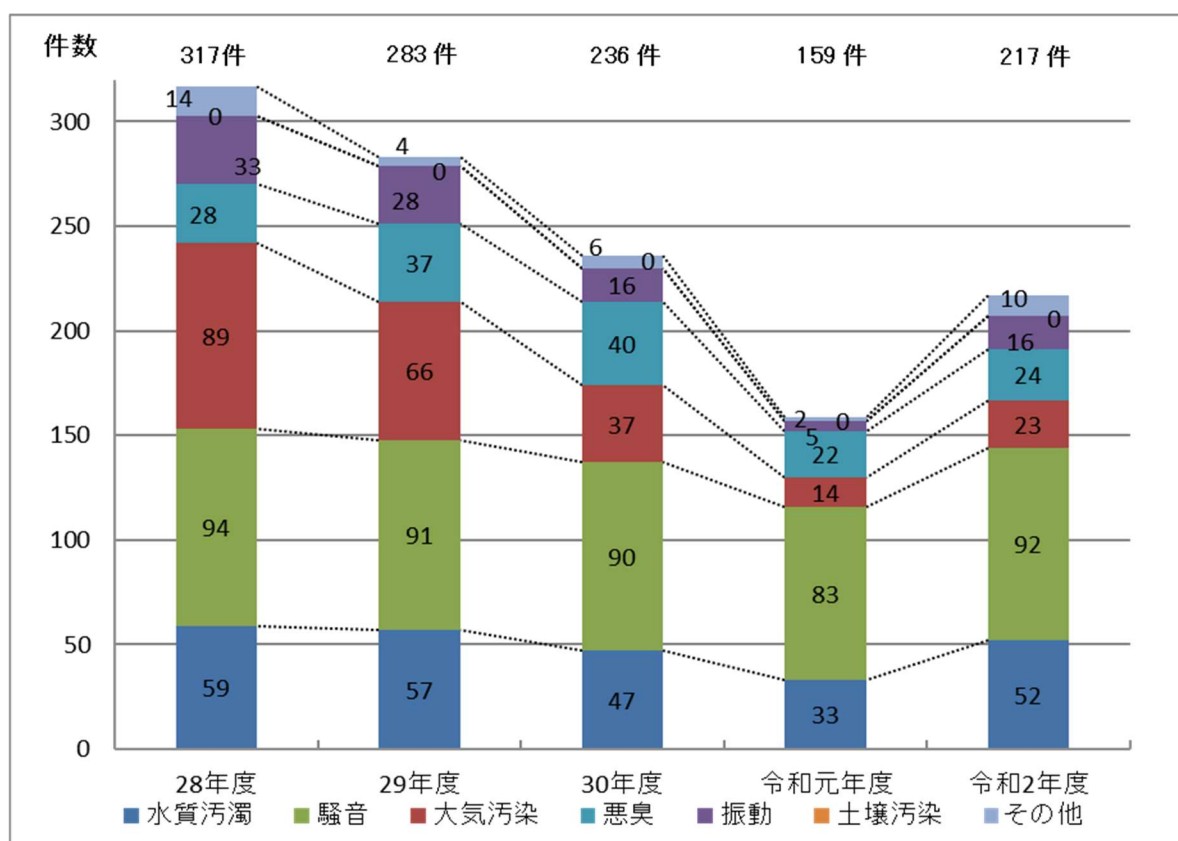


図 4-1-2 公害苦情件数の推移(令和2年度(2020 年度))

(1) 大気汚染

大気汚染に関する苦情は 23 件で、苦情全体に占める割合の 10.6%でした。

発生源の主な原因は、建築物からのアスベストや建設・解体作業に伴う粉じんによるものが 14 件と最多となっています。また、廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所の総務企画課でも対応しています。

(2) 騒音

騒音に関する苦情は 92 件で、苦情全体に占める割合は 42.4%でした。

発生源の主な原因は、建設・解体作業に伴う騒音が 43 件と最も多く、次いで宿泊業、飲食サービス業の事業活動に伴う騒音が 6 件となっています。

(3) 振動

振動に関する苦情は 16 件で、苦情全体に占める割合は 7.4%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が 12 件となっています。

(4) 悪臭

悪臭に関する苦情は 24 件で、苦情全体に占める割合の 11.1%でした。

発生源の主な原因は、農業・林業もしくは製造業の事業活動に伴う臭いがそれぞれ 5 件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種のうち、割合が高いものは建設業(35.5%)、農業・林業(8.8%)、サービス業(他に分類されないもの)(6.5%)となりました。

また、内訳の中で、不明が12.9%と、依然として一定の割合を占めていますが、これは水質汚濁や悪臭の発生源は特定できないケースが比較的多いためです。(表 4-1-1)

表 4-1-1 公害苦情の発生源業種(令和2年度(2020 年度))

業種	公害の種類	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	合計	
									件数	構成比(%)
農業、林業		8	0	5	0	5	0	1	19	8.8%
漁業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
建設業		3	14	43	12	0	0	5	77	35.5%
製造業		3	2	1	2	5	0	0	13	6.0%
電気・ガス・熱供給・水道業		1	0	2	0	0	0	0	3	1.4%
情報通信業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
運輸業、郵便業		0	0	4	0	0	0	0	4	1.8%
卸売業、小売業		2	2	5	1	0	0	1	11	5.1%
金融業、保険業		0	0	1	0	0	0	0	1	0.5%
不動産業、物品賃貸業		1	0	1	0	0	0	0	2	0.9%
学術研究、専門・技術サービス業		0	0	1	0	0	0	0	1	0.5%
宿泊業、飲食サービス業		3	0	6	1	1	0	0	11	5.1%
生活関連サービス業、娯楽業		1	1	3	0	0	0	0	5	2.3%
教育、学習支援業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医療、福祉		1	1	2	0	0	0	0	4	1.8%
複合サービス事業		0	0	1	0	0	0	0	1	0.5%
サービス業(他に分類されないもの)		6	1	5	0	1	0	1	14	6.5%
公務(他に分類されるものを除く)		0	0	2	0	0	0	1	3	1.4%
分類不能の産業		0	0	3	0	0	0	0	3	1.4%
家庭生活		2	0	3	0	4	0	0	9	4.1%
不明		17	0	3	0	8	0	0	28	12.9%
その他(自然発生等)		4	2	1	0	0	0	1	8	3.7%
計		52	23	92	16	24	0	10	217	100.0%

